

知れずコツコツと努力するものではないか。」ということですが、その考え方もあると思えます。

しかし一方で、「有言実行」という言葉もあるように、公表することにより、「夢・志を一層目指そうとする」、「周囲の人も、その実現に向けて支えることができる」などの良さもあります。

そして、「特定の学校や特定の学年に限るのは、機会の公平という観点から好ましいことなのか。」とのご質問ですが、「夢・志」明確化事業は、中学校では実施しませんが、町内すべての小学校で実施するものであり、人格形成において、重要な時期である小学校の子ども、特に目的と手段を合わせて考えることができるようになる5年生を対象として行います。また継続事業として行うことを考えていますので、今後5年生になると体験できることとなるということから、不公平になるとは考えておりません。

今後も『夢・志』を持たせ、それに向かって努力する子どもの育成を図るために、学校と地域とが一体となり、粘り強く取り組んでいきたいと考えています。

## Q2 役場本庁舎の建設基金の設置について

### 現時点での目標設定や庁舎建設に向けての考え方は

**問** 先日、八百津町公共施設等総合管理計画が示された

が、これによると行政財産・普通財産・その他の財産に分類され、用途別や地域別の公共施設等の現状を把握・分析し、管理計画が策定されている。その中で、役場庁舎については、既に50年以上が経過しており、耐震補強工事を含め長寿命化を図ってきたところである。しかし、最近、老朽化を含め使い勝手が悪いなど、一部町民からの声を私自身も耳にする機会があり、平成29年度より建設基金の創設を計画されている。私が穿ち過ぎた考えを持っているからなのかはわからないが、良い悪いではなく卵と鶏の話ではないが、まずはこの総合管理計画、個別計画を町民に対して周知し、その上で本庁舎建設に関する計画に対し、理解を求めるのが筋ではないかと考える。そこで、現時点での目標設定や庁舎建設に向けての考え方を伺う。

**答** (纏綿参事)

八百津町役場本庁舎につきましては、昭和40年の建築以来52年が経過したところでございます。平成17年には耐震補強工事を施工しておりますが、老朽化に伴い各所で漏水やひび割れなどが発生し、その都度補修

をしているのが現状でございます。



築50年以上経過した役場本庁舎

近年では、東日本大震災をはじめ、熊本地震、鳥取県中部地震など大きな地震災害等が発生する中、災害対策拠点となる庁舎の建て替え等の問題が各地で議論されるとともに、具体的な計画にも着手される自治体も多くあるようでございます。

本庁舎などの公共施設の建て替えは、概ね60年を目処とされており、近い将来当町も老朽化や町民へのワンストップサービスの向上、相談室、会議室などの確保、また町民の利便性向上のためのユニバーサルデザインの対応なども含め、建て替えなどを検討しなければならぬ時期が来ると考えております。このたび上程させていただきました八百津町庁舎建設基金条

例は、来たるべき時期の建設に要する経費の財源とさせていたため、基金積み立てをさせていただきたくお願いするものでございますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

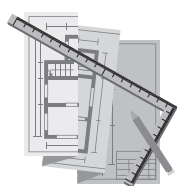
### 庁舎建設基金について

**問** 私が調査をしてきた中で

は、起債をする際、過疎債等有利な起債は難しいと伺っている。だからこそ町民の理解を得て行く必要があるのではと考える。現状では未定ということだが、来たるべき時期、今後、町民が受ける行政サービス、それぞれの地域にある公共施設等の合理化や統廃合ということが出てくると思う。こうした意味からも自治会総会や自治会長会等で周知することを徹底していただきたい。重要なテーマと考えるが、町執行部の考えを伺う。

**答** (纏綿参事)

ただ今のご質問については、折に触れ丁寧にご説明させていただきたいと考えていますのでご理解をお願いします。



## Q1 コネス「登録のイベント」と物産館の建設と地域おこし協力の今後の活動について

山田 勉 議員

町民皆が気楽に参加できるイベントを

**問**

杉原千畝氏の世界遺産登録前後を盛り上げる記念イベントが多く計画されているが、私は町民全員参加型の子どもも青年も老人の方々も皆さんが気楽に参加できるイベントを計画していただきたい。

例えば、八百津地区夢おこし事業のイベントでは誰でも気楽に参加でき、町内の商店街の方も参加してもらい、商品等を寄付していただくなど、多くの方が喜んで参加されている。



来館者でにぎわう杉原千畝記念館